



つくば市議会副議長

つくば・市民ネットワーク

こもりや

小森谷さやか

活動レポート①

アンケートにご協力
お願いします! →



こもりやさやかのページ



instagram



X



市民ネットHP

POINT

ここが違う☆市民ネットの議員



原則2期8年、最長でも3期12年で
次の人へバトンタッチします

固定化しがちな関係を防ぎ、市民目線での
追及と提案をし続けます



議員報酬の約半分を寄付し※
市民活動を進めます

市民ネットが目指す政策実現のための
調査活動や学習会開催、活動報告等に使います
※政治資金規正法を遵守しています



独立した地域の政治団体です

上位組織はありません
平場で話し合っ方針を決めています

小森谷さやかプロフィール profile

- 1974年 群馬県前橋市に生まれる
- 1993年 群馬県立前橋女子高等学校卒業
- 1993年 富山医科大学薬科大学薬学部入学
- 1997年 製薬メーカーMR(営業)として就職
- 2004年 メーカー退職、調剤薬局の薬剤師を始める
- 2007年 つくば市に転居
- 2011年 3.11をきっかけに市民活動を始める
- 2014年 つくば・市民ネットワーク運営委員に
- 2016年 つくば市議会議員に初当選
- 現在 つくば市議会副議長、総務文教委員会委員等
(家族は夫と息子2人と猫2匹)



新しい家族が増えました!
保護猫の兄弟です



取り組んできたこと①

◆香害・化学物質過敏症

お友達の服や昼寝用布団の香りが「きもちわるい」と保育園に通えなくなってしまうお子さんの相談を受けたことがきっかけでした。

香りブームが始まったのは10年ほど前から。CMでは「香り長持ち」「弾ける香り」「ずっと消臭」「抗菌ブロック」というキャッチコピーが踊っています。これら製品はプラスチック製のマイクロカプセルに香料や消臭抗菌成分を封じ込め、少しずつ弾けさせていますが、そこにどんな化学物質が使われているのかは表示義務がないためわかりません。しかし、マイクロプラスチック自体の害が生態系に与える影響を始め、複数の香料や揮発性有機化合物等から発がん性物質やアレルギーが見つかるなど、健康に与える悪影響が少しずつ明らかになっています。

つくば市には**公共施設への啓発ポスター掲示**、それから学校、幼稚園、保育所において**啓発チラシの配布**をしてもらっています。

給食白衣の共用をやめた学校も増えています。現在は**実態調査の実施**に向けて準備をお願いしているところです。



議員 = 代理人

2016年12月から議員活動スタート。市民ネットでは、議員を「代理人」と呼び、市民の声の代弁者であることを意識した活動をしています。とくに弱い立場の方、少数派とされる方々の意見を届けることを大事にしています。

私が今まで一般質問で取り上げたテーマをそのような視点で振り返ってみると

- 香害、化学物質過敏症
- 障害者政策（各種補助事業の拡大、条例制定、バリアフリーの進め方等）
- ワクチン被害（HPV、コロナ）
- コロナ禍では子どものマスクや黙食について

等々、薬剤師としても仕事を続ける中、健康問題に対してはやはり力が入ります。その他、子どもの育ちや学校教育について相談を受けることが多く、さまざま提案を続けています。



きっかけは3.11

東日本大震災が起きた時、息子たちは2人とも未就学児でした。この小さな子どもたちをそれまでのように外で遊ばせていいのか、食べ物は何を気を付ければいいのか？テレビや大手新聞社が報じる横並びのニュースに疑問を抱き、インターネットの情報を調べたり、あちこちの学習会に参加しました。

「安全な原発などあり得ない」という考えに至った私は、当時のママ友たちと、原発だけでなく当時、にわかには持ち上がった安保法制・憲法改「正」の動きをテーマにしたチラシを作り、あちこちで配布しました。そして、チェルノブイリや福島のドキュメンタリー映画の自主上映会、お話し会、循環型社会を意識した“0円マーケットくるくる広場”などを開催するうちに仲間が増え、つくば・市民ネットワークともつながりができました。

社会の流れを変えたいならまず自分の足元・身近な地域から！と思い至り、立候補しました。



自作の原発反対シールをイベントで販売も。写真上は「廃炉くん」というキャラクター。ママ友と考えました。

議員8年目となりました。節目の年を迎えるにあたり、今までの取り組みを3つのシリーズにわけて報告します。今回は第1号ということで、なぜ議員になると思ったのか？のきっかけの話からさせていただきます。

こんにちは！

げんきもりもり
こもりやちやか

です。

